

【施設状況】

グループ名称	更北公民館、分館(稲里、小島田、真島)								
指定管理者名	更北地区住民自治協議会					法人番号			
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課	副					
構成施設	3340	更北公民館							
	3338	更北公民館稲里分館							
	3336	更北公民館小島田分館							
	3337	更北公民館真島分館							
施設分類	01	企画型	施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	【本館】多目的ホール 1、陶芸実習室 1、料理実習室 1、児童室 1、図書室 1、小会議室 1、学習室1~6 各1、集会室 1 【稲里分館】多目的ホール 1、和室 1、調理室 1、集会室 1 【小島田分館】多目的室 1、和室 1、図書室 1、学習室 1 【真島分館】大会議室 1、調理実習室 1、講義室 1、学習室 2、会議室 6								
施設設置目的	公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、實際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。								
基本方針等	地方自治法(第244条)教育基本法(第12条)の理念に基づく公の施設であることを念頭において社会教育法(第20条、第22条)に定める事業を、利用者の安全対策を図り、平等、公平な運営に努める。								
主な実施事業	・成人学校の開設 ・各種講座の実施 ・講演会 ・展示会の開催 ・図書等を備えその利用を図る ・貸館事業								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	更北地区住民自治協議会			当該指定管理者の 指定回数	2 回	
指定期間	平成31年4月1日	~	令和6年3月31日	5年	当該指定管理者の 管理運営開始日	平成28年4月1日
指定 管理者 の 健全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)					3

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		利用区分等	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	対前年比	評価
		利用者数	人	26,269	26,165	31,971	36,906	115%	3
		利用率	%	20.8	21.4	25.3	28.6	113%	
		分館(3館)利用者数	人	18,222	16,851	19,358	21,921	113%	
		分館(3館)利用率	%	14.9	14.6	15.7	16.6	106%	
(特記事項)									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ・更北公民館の利用許可に関する業務 ・社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務 ・更北公民館の設備及び維持管理に関する業務 ・教育委員会が定める業務や受講料の収受に関する業務 ・更北公民館の利用の許可、不許可及び取り消しに関する業務 ・施設、付属品及び物品の維持管理に関する業務 							
	自主事業	提案を求めている							
サービス維持・向上の取組み (広報等)		<ul style="list-style-type: none"> ・公民館報 2回/年 発行(全戸配布)。また、ホームページの更新やYouTubeで情報発信を行い、公民館活動の広報をした。 ・上記のほか、講座の開催案内にあたり、チラシの回覧をした。また、マスメディア(週刊長野、市民新聞)も活用した。 							

3 利用者評価

区分	内容		評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	4
	(2) 調査、会議等の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・学級講座ごと受講者を対象に、講座終了時にアンケートを実施した。アンケートには次に希望する講座内容記載欄を設け、利用者ニーズの把握をした。 ・貸館利用者は、利用簿の欄に要望を記入する欄を設け、利用簿返却時等に聞き取りを実施した。 		
	(3) 調査、会議等の結果 実施した一般講座:13講座(41回) 講座参加者数:795人 うち アンケート回答者数236人 満足:88.6% やや満足:10.2% やや不満:1.2% 不満:0%		
利用者からの評価 ・要望・苦情等	(1) 良好とする評価 <ul style="list-style-type: none"> ・「ミニ門松作り講座」について、「製作しながら年中行事や門松の意味についても学び古来からの文化の理解を深めることができた。」と、全員から満足という高評価を得た。 ・「はじめての操体法講座」について、当初は単発講座(定員20名)の予定で募集したが、受講希望者が予想をはるかに超えたため、急遽、2・3回目を計画・実践した。このような臨機応変な公民館職員の対応力が、多くの利用者の皆様に評価された。 		
	(2) 苦情・改善等の要望事項 <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートでやや不満1.3%と回答をされた方について、具体的な記述がなく、内容が不明であった。 		
	<<対応措置>>		

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和5年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和5年度決算		令和4年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金	1,690,000	利用料金	1,880,522	使用料	47,310	使用料	27,580	3
	指定管理料	24,813,000	指定管理料	23,937,545	雑(納付金)	8,160	雑(納付金)	12,050	
収入	委託料		委託料		行政財産目的外使用料	447,188	行政財産目的外使用料	447,188	
	販売収入等		販売収入等		貸付料		貸付料		
	その他収入	0	その他収入	8,197	その他		その他		
計	26,503,000	計	25,826,264	計	502,658	計	486,818		
支出	人件費	11,417,000	人件費	11,338,883	指定管理料	23,937,545	指定管理料	24,813,000	
	設備管理費	3,100,000	設備管理費	3,484,025	委託料	35,200	委託料	0	
	備品購入費	0	備品購入費	531,834	需用費		需用費		
	修繕費	250,000	修繕費	2,069,205	役務費		役務費		
	光熱水費	6,500,000	光熱水費	5,849,982	使用料・賃借料	59,400	使用料・賃借料	59,400	
	事業費	2,120,000	事業費	1,806,500	修繕費	70,235	修繕費	201,905	
	事務経費	1,916,000	事務経費	1,802,604	工事請負費	33,754,600	工事請負費	3,542,000	
	本社経費		本社経費		備品購入費		備品購入費		
	その他	1,200,000	その他	1,883,000	その他		その他		
	計	26,503,000	計	28,766,033	計	57,856,980	計	28,616,305	
自主事業	収入		収入						
	支出		支出						
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益		0		-2,939,769	差引	-57,354,322		-28,129,487	
人件費比率【人件費(賃金等)／令和5年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								39.4%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※ すべて で、「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input type="checkbox"/>	2
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 館長1人(1人)、主事1人(1人)、事務職員3人(3人)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	2
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	2
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	2
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	2
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	2

6 危機管理体制

※すべて☑で、「3」。1か所でも空欄の場合は「1」、「4」「5」とする場合は、
評価理由欄に理由を記載してください。

No. 77

区分	確認内容	チェック欄	評価
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	☑	
	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	
2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか			
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑	
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。	評価				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>協定内容・指定管理者提案</th> <th>追加された内容、未実施の内容及びその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 地域の連帯感を醸成し、関係機関、団体等と連携して、地域に根ざした公民館活動の展開を図る。 ①地域住民及び地域の各種団体等の連携を図り、各法人、企業等とも連携協力し事業運営を行う。 ②地域課題の掘り起こしや地域に根ざした生涯学習を企画運営する。 ③地区内の人材発掘・育成に努め、可能な限り地元から職員を採用するよう努める。 ④地域公民館との連携に努め、必要な助言指導を行う。 </td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	地域の連帯感を醸成し、関係機関、団体等と連携して、地域に根ざした公民館活動の展開を図る。 ①地域住民及び地域の各種団体等の連携を図り、各法人、企業等とも連携協力し事業運営を行う。 ②地域課題の掘り起こしや地域に根ざした生涯学習を企画運営する。 ③地区内の人材発掘・育成に努め、可能な限り地元から職員を採用するよう努める。 ④地域公民館との連携に努め、必要な助言指導を行う。		3
協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由					
地域の連帯感を醸成し、関係機関、団体等と連携して、地域に根ざした公民館活動の展開を図る。 ①地域住民及び地域の各種団体等の連携を図り、各法人、企業等とも連携協力し事業運営を行う。 ②地域課題の掘り起こしや地域に根ざした生涯学習を企画運営する。 ③地区内の人材発掘・育成に努め、可能な限り地元から職員を採用するよう努める。 ④地域公民館との連携に努め、必要な助言指導を行う。						

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	総合評価 60
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	2	8	
危機管理体制	3	6	
地域連携	3	6	
合計得点		60	

評価理由

【利用者評価を4とした理由】
 ・創立50周年となる「作新大学」において、受講者自らが講座の内容を決め、年間12回の講座を実施したこと。また、講座の運営もできるだけ受講者に任せるようにし、受講者が自主的に取り組む雰囲気や、各講座を楽しみに待つ雰囲気を創り出したこと。その結果、毎回80～100名の受講者で開催でき、安定した受講者確保と活気ある講座が実現できていること。を評価した。
 【管理運営全般を2とした理由】
 ・館長の不在期間が4か月にわたり、職員配置が適正とは言えない状況が継続したことによるもの。

取組み・改善案等
(施設所管課)

前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)

次年度の目標・取組み等
(施設所管課)

・新型コロナウイルス等感染症防止対策を徹底し、引き続き利用者が安心して利用できる施設を目指す。
 ・ホームページや地区回覧等、さまざまな情報発信を行い、施設の魅力や講座をPRし、利用者の増加を目指す。
 ・住民自治協議会や小中学校をはじめとする教育機関、地域の事業者と連携した事業の実施を目指す。

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・ホームページの更新で情報発信を行い公民館活動の広報に努めた。
- ・新規講座開設のために講師との連携を密にし、内容の充実を図るとともに、受講者アンケートやコミュニケーションを大切に対応した。

② 業務の効率化に対する取組み

年間10,000冊程の利用貸出図書数に対しバーコード管理化が順調に進み、利用履歴、集計、返却期限遅延利用者把握等効率的に取り組んでいる。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

指定管理を受託し8年が経過した。地域から職員を雇用できたこと、修繕などスムーズにできたことなど成果もあった。しかし、受託したことにより大きな成果を期待したが、見受けられない。また、社会教育法が存在する状況の中、一民間組織が管理監督をすることは、大きな負担と言わざるを得ない。これらのことを総合し、指定管理者を辞退することとした。

(3) 総合評価

評価基準

- 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

計画どおり一般事業や成人学校の開催を行い、受講者から満足度の高い評価をいただいたため。

② 次年度以降の取組み